



ま だ 見 ぬ
ま ち を
リ ア ラ イ ズ

一般社団法人 由利建設業協会
〒015-0824 秋田県由利本荘市古雪町25
TEL.0184-24-3115
<http://y-constr-assoc.sakura.ne.jp>



秋田県由利地域振興局 建設部
〒015-8515 秋田県由利本荘市水林366
TEL.0184-22-5436



(発行／平成30年10月)

未来の担い手へ贈る・建設産業ハンドブック

ぼくがつくったフィールドで

みんなが夢を追う

私がつくるまちが

みんなのふるさとになる



フィールドを離れて、夢を見ることはできない。

まちがあるおかげで、ここはふるさとだと安心できる。

ぼくたちは、みんなを支えている。

夢やふるさとは、みんなの人生になくてはならないものだから。

山勇建設工業 株式会社
佐藤 弘睦さん
HIROMU SATO
平成 29 年入社

Contents

- | | |
|----|-------------------------|
| 3 | 現場にとて、「いなくてはならない人」 |
| 5 | 現場って、カッコイイ。ここで成長したい。 |
| 9 | グループインタビュー |
| 11 | 明日へつながるインフラ、未来に向かうこのまち。 |
| 13 | 主な建設工事 |

株式会社 斎藤組
明石 岳之さん
TAKEYUKI AKASHI
平成 26 年入社

現場にとって、 「いなくてはならない人」

私はもともと図形が好きだったので、理系大学で建築学科を専攻していました。大学卒業後、大手企業に就職し、3年間勤めましたが、そのときにある疑問が湧いてきたのです。大手であれば、安定した収入は得られますが、必ずしもそれが幸せのカタチではないんじゃないか、と。毎年100人くらいの新入社員が入社してくる中、自分が組織の歯車の一部になっているという感覚がありました。自分がいなくても仕事がまわる、自分の代わりはいくらでもいる、と思いながら働くことは、私にとっては辛かったです。

現場代理人は、そのような状況に陥ることはありません。絶対に現場に「いなくてはならない人」だからです。つまり、自分にしかできない仕事をしている、という実感があるのです。その意味では、今の自分は、自身の存在意義を確認しながら、前向きに仕事に取り組むことができていると思います。良い仕事ができるかどうかは自分次第、というプレッシャーもありますが(笑)。

夏は暑くて冬寒い。ときには危険な場面に遭遇することも。現場には、大変なことがたくさんあります。しかし、扱う重機の大きさや、完成するまでのワクワク感など、そこでしか見られない世界があることも確かです。皆さん、私たちと一緒に、この世界を体験してみませんか!





菊地建設株式会社
松本 有香子さん
YUKAKO MATSUMOTO
平成 29 年入社

現場って、カッコイイ。
ここで成長したい。

私は普通科高校の文系出身で、当時はほとんど何も知らずに建設業界に就職しました。様々な現場を経験して、自分が携わった工事が形として残り、それを日常で見ることができます。とても魅力的でカッコイイ仕事だとうようになりました。同時に図面の見方や測量の仕方を覚え、完成を想像する作業が楽しいと感じるようになっていったことを覚えています。

私にとって仕事とは、人間として成長するための場。これからはカッコイイ、楽しい、と思える現場で成長を果たしていくことを決めたのです。

現場代理人という職種については、就職してからはじめて知りました。現場の中心者なので憧れの存在です。現在、2級土木施工管理技士の資格取得に向けて日々勉強しています。現場代理人という目標に向かって、まさに念願だった「成長できる環境」に、自分はいるのだと実感しています。

現場では女性用のトイレや更衣室も用意してもらっています。女性にとって、働きやすい環境は整っていると思います。建設業界には、女性の力がまだ足りないという課題があるので、一緒に成長していく仲間と出会うことができたら、とても嬉しいですね。



現場で活躍する彼らの「リアルな声」が聞ける
スペシャルムービーはこちら



建設的に、語ろう。 ～未来の担い手に向けたメッセージ～



**現場代理人という職種をいつ頃、
知りましたか**

明石：大学時代に現場監督という職種は知っていましたが、現場代理人は入社してから知りましたね。

山本：私も同じです。高校の求人で見つけましたが、当時はどんな職種か詳しくは知りませんでした。

松本：私も入社してから知りました。特に私は普通科高校出身なので、建設業界に就職した人も周囲にはいません。

なぜ現場代理人を目指すのですか

明石：私は理系が得意で、図形が好きだったので建築学科へ進みました。建設会社に入れれば現場監督、その先は現場代理人を目指すのが自然な流れだと思います。

**建設産業の最前線・現場ではたらく人たちがいます。
彼らは現場代理人として、またそれを目指す者として、
技術職のプロ集団の中心的役割を担っています。
ここでは、それぞれの現場へのこだわりや、
仕事のやりがいなどについて語り合い、
そしてこれから社会に出ていく若い人たちへ
メッセージをおくっていただきました。**

松本：代理人は現場ではたらく人たちの目標となる立場だと思うので、憧れの存在ですね。一人で何億円という金額の現場を受け持つのは大変なことですが、現場監督と現場代理人では仕事が終わったあとの達成感が違うのではないか、と思っています。

**現場監督と代理人とで
達成感は違うものですか**

斎藤：何と言っても責任の大きさが違うと思います。それに応じて、達成感も大きくなるのではないかでしょうか。

どんな現場代理人を目指したいですか

松本：大きな予算をあずかる仕事ですが、どんな条件下でも会社に利益を残せるような現場代理人を目指したいと思っています。

東海林：利益は大事ですね。さらに言えば、円滑に工程を進められて、怪我もなく、利益



が出せばそれが一番です。

山本：信頼は、日々の積み重ねでしか得られないものだと思うので、下請けの職人さんたちにも信頼を置いてもらえるような存在になりたいです。

明石：そうですね、私もそう思います。それから、現場の雰囲気を良くしたい。ただし、人の命が懸かっているので、締める時は締めますよ（笑）。

どんな現場を任せたいですか

山本：公共施設など、規模の大きい現場を任されるようになりたい。

松本：確かに。規模が大きいというのは仕事の醍醐味でもありますよね。私の場合、具体的に橋づくりに携わりたいです。私は構造物の図面を見るのが好きで、橋だと規模も大きくて、図面がたくさんあるので面白いです。



菊地建設株式会社

松本 有香子さん
[平成29年入社]



株式会社齋藤組

明石 岳之さん
[平成26年入社]



菊地建設株式会社

斎藤 多喜恵さん
[平成18年入社]



木内組土建株式会社

東海林 徹さん
[平成25年入社]



村岡建設工業株式会社

山本 裕二さん
[平成26年入社]

**現場代理人の仕事のいいところを
PRしてください**

東海林：高校に土木科が増えればいいなとは思いますが、普通科出身の人もあたたかく受け入れてくれますので、そのへんはあまり悩まずに建設業界に入ってきてほしいです。

松本：社長の代理として現場をあずかる気持ちになれることと、大きな規模と金額の現場を動かすことが、誇りになっています。

山本：すべてが大変な仕事ですが、その分やりがいも大きいです。現場が出来上がったときにお客様から「ありがとう」と言われると嬉しい。

明石：お客様以外にも、現場の写真を撮って、友人などに見せると「あれ！これ作ったの？」と驚かれるのも嬉しいですよね。

斎藤：そうそう。自分が携わったものではなくても、「うちの会社で作ったんだよ」と自慢したりします（笑）。

**これから社会に出ていく
若い人たちに向けてメッセージを**

明石：現場には、普段見られない世界があります。規模が大きく、時には危険もあるけれど、とてもなく大きなものを持ち上げたり、クレーンや重機などがあったり。関係者以外立ち入り禁止の現場には、そこにしかない魅力があるということを伝えたいです。

斎藤：若い頃に、視野を広げておきましょう。自分の可能性を信じて、何事も前向きに考え、いろいろな物事に積極的に取り組むべきだと思います。

松本：選択肢はもっと広げた方が良いということですね。それこそ、私のように普通科から土木関係の業種に行く人はあまりいないと思います。高校の時にいろいろな業種を見て、そして建設業にも興味を持ってほしい。特に女性がこの業界には少ないので、待っています（笑）。

山本：勉強はしておいたほうがいいです（笑）。

東海林：私たち自身がそうであったように、現場代理人という職種があることを知る機会はなかなかないと思います。もっと多くの若い人に、私たちの仕事を知ってもらえたら、嬉しい限りですね。

鳥海ブルーライン

観光道路

鳥海ブルーラインは、鳥海山麓の草原を左右に迂回しながら登ることができるドライブコースです。

冬期間は積雪のため通行止めとなります。5月の大型連休前には、熟練の土木オペレーターが操作する除雪車を稼働させ、短期間で集中的な除雪作業を行います。除雪作業後、道路の両側に出来る高さ数メートルの「雪の回廊」は、観光スポットにもなるほどです。この景色を見てみると、県内外から沢山の観光客が訪れます。



橋梁

由利橋

かつて旧本荘市街地と石脇地区とを結ぶ架け橋として利用されてきた由利橋は、老朽化が進んだために架け替え工事を実施。平成25年にトラス形式の橋から斜張橋としてリニューアルされました。

新たな由利橋は、レガッタレースが盛んな地域のため、河川を広く利用できるように橋脚の配置を工夫したり、景観への配慮からシンボリックな主塔を設置したりしています。現在では、市のランドマークとして、主塔及びケーブルは「由利タワー」の愛称で親しまれています。

大内ダム

ダム

大雨による洪水被害の軽減化や、水道用水の安定した供給を図ることなどを目的として、平成20年3月に完成しました。大内ダムは秋田県内の河川管理者が管理するものとしては最も小さなダムですが、総事業費は約55.8億円です。

ダムに貯まった水を放流する「洪水吐き部分」を下流側から見てみると、まるで巨大なロボットの顔のように見えることもあります。地域住民に深く親しまれています。



砂防

奈曾川砂防施設群及び河川公園

鳥海山の西側に位置する稻倉岳を源流とする奈曾川は、かつて大雨のたびに周辺集落に土石流災害をもたらしていました。暴れ川と呼ばれていました。

昭和8年、県内で初めての砂防事業として工事着手し、その後、砂防堰堤(えんてい)や床固工(とこがためこう)などの砂防施設を多く設置しました。長年、土石流に悩まされてきた本郷地区には、「奈曾川河川公園」が整備され、かつての暴れ川も現在は水に親しみ憩いの場へと変わりました。



日本海沿岸東北自動車道(日沿道)

高速道路

新潟県より山形県・秋田県の日本海側を縦断し、青森県へと至る高速道路です。

この道路の整備により、他の県や地域との高速道路網がつながることから、色々な効果が期待されています。例えば、災害によって国道7号が分断されるような事態が発生しても、由利本荘エリアの孤立を防ぐ代替道路となることや、救急医療施設への素早いアクセスを可能にすることなどです。さらに、日本海側の各都市間の交流促進にも期待が高まっています。



防災公園

由利本荘総合防災公園

市民が安全・安心・快適に利用できる「複合型交流拠点」として整備され、その中核を担う由利本荘アリーナが平成30年10月にオープンしました。

施設のコンセプトは多様で、市民の安全なくらしを支える防災拠点としてはもちろん、広域スポーツ交流拠点、地域のにぎわい交流拠点なども掲げられています。このコンセプトに沿ったイベントなども行っていく予定です。多くの人が行き交うまちづくりと、安全で快適な市民のくらしづくりへの貢献を目指していきます。

